



The service club to the YMCA
 THE Y'S MEN'S CLUB OF
TAKARAZUKA

宝塚ワイズメンズクラブ
 〒 662-0977 西宮市神楽町 5-23
 西宮 YMCA 内
 Tel (0797)35-5987

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIS EVERY RIGHT

AFFILIATED WITH THE INTERNATION OF Y'S MEN'S CLUBS CHARTERED MAY 22,1988

宝塚ワイズメンズクラブ

2017年12月会報

第351号

主 題 ・ 標 語

国際会長(I P) Henry J.Grindheim

主 題: " Let Us Walk in the Light-Together " 「共に、光の中を歩もう」
 スローガン " Fellowship across the borders " 「国境なき友情」

アジア地域会長(AP) Tung Ming Hsiao(台湾)

主 題: " Respect Y's Movement " 「ワイズ運動を尊重しよう」

西日本区理事(RD) 大野 勉 (神戸ポート)

主 題: 2022 年に向け「心身の健康づくりから、クラブの健康づくり」
 " Healthy mind & healthy body make healthy club "

副 題: 「今あるクラブを充実させ、しょうらいのクラブへ
 宝(財産)を伝承していこう！」

六甲部部长 杉本 隆人(神戸学園都市)

主 題: 「共感しあい、支えあおう」

Empathy each other, Root y's & YMCA

宝塚クラブ会長 武田 寿子

主 題: 「次世代への継承！」Continuity to the Next Generation
 地域への奉仕、エネルギーを結集し西日本区大会を
 成功させよう

今月のテーマ : EMC-E (会員の獲得強化)

家に入ってみると、幼子は母マリアと共におられた。彼らはひれ伏して幼子を拝み、宝の箱を開けて、黄金、乳香、没薬を贈り物として献げた。(マタイ2章 11-12節)

2017年12月クリスマス例会

日 時 : 2017年12月20日(水)18:00~20:30

場 所 : 宝塚ホテル チャペル・ゴールドの間

会 費 : 会員3,100円、会員外3,500円

ドライバー 若林成幸 鯖尻佳子

第1部 クリスマス礼拝 司会 若林成幸

奨 励 飯塚共生さん 関西学院大神学部3回生

第2部 クリスマス例会 司会 鯖尻佳子

開会点鐘 武田寿子会長

ワイズソング 全 員

ゲスト・ビジター紹介 武田会長

会 食

活動報告と懇親会

・「地球市民育成プロジェクトと私」

～みつかる。つながる。よくなっていく。～

西宮 YMCA スタッフ 太田ひかりさん

神戸 YMCA スタッフ 橋本 唯 さん

・「私がキャンプでえたもの」

余島キャンプリーダー 中 正法さん

・「はんしん自立の家でのボランティア体験」

オハラ・フェリシティさん

会長報告・委員会報告

YMCAニュース

誕生日記念日

閉会点鐘 武田寿子会長

2017/18 役 員	会 長 武田寿子 直前会長 若林成幸 副会長 多胡葉子 書 記 若林成幸 会 計 吉田 明 堀江裕一 会計監査 加藤光信 連絡主事 谷川 尚 メネット連絡 福田素子
事 業 委員長	YMCAサービス・ユース 福田宏子 地域奉仕・環境 多胡葉子・EMC 若林成幸 交 流・ファンド 石田由美子 広 報(ブリテン) 長尾 亘 (HP) 長尾 亘
特別事業 委員長	NGO 鯖尻佳子 じゃがいも 福田 肇 バザー 青柳美知子 市民クリスマス 若林成幸
お誕生日 おめでとう!	今田和子(24日) 谷川友子(15日)
11 月 実 績	例会出席者数 26名 在籍会員数 20名 (内功労会員1) 出席会員数 15名 出席率 75.0% メイクアップ(内数) 3名 メネット 3名 コメント・孫メット名、ゲスト・ビジター60名 例会充足率 375 %
	B F ポイント 11月 3,400円 累 計 19,580円 にこにこBOX 11月 1,000円 累 計 17,750円 ファンド(物品販売) 0円 累 計 21,000円

会長のことば

カレンダーが残り少なくなってなんだか気ぜわしい毎日です。

宝塚ワイズメンズクラブ主催の第13回目の市民クリスマスが12月15日金曜日ベガホールで開催されます。若林ワイズのリーダーシップのもとに今年も様々な趣向を凝らしたプログラムが生まれ、できるだけ多くの市民の方々に楽しんでもらえるようメンバー全員が協力して準備を行っています。このクリスマスの素晴らしいところは、幼稚園から高齢者、障害を持つ人もみんな一緒にクリスマスの喜びとともに歌い、演奏し、フラを踊り、最後のハレルヤコーラスでは会場全体が一つになることです。会を重ねるごとに、このコンサートを楽しみにしてくださる方が増え、クリスマスにはこのコンサートに参加しないと始まらないという方もいます。寒い時期で、19時開演なのでいつもお天気が気になりますが、今年もきっと素晴らしい感動の時間を持つことができると信じています。

先日YMIWorld が配布されましたが、日本からの発信の記事がなく、私たちのコンサートのように日本のワイズの素晴らしい地域奉仕が日本中でいろいろ行われているのに、もっと世界に知っていただけよう投稿すべきだとおもうのですが、いかがでしょうか？

武田 寿子

11月例会報告

宝塚ワイズの 11 月例会は初めて二部に分けて持たれました。

一部をはんしん自立の家を会場に入居者の方々と一緒に交流のピアノコンサートが開催されました。

岩国で福祉音楽および就労支援をお手伝い

する会を立ち上げ障害のある方々にも開かれた音楽の世界を作りたいと各方面の施設で活躍しておられるピアニストで岩国クラブの現会長でもある中村桂子ワイズが講師です。

宝塚ワイズは地域活動の一つとして、はんしん自立の家の入居者・ハンディキャップのある方々との交流をしています。

今回ははんしん自立の家を会場に中村桂子さんによる福祉と音楽をつなぐピアノコンサートを例会の第一部として実施することができました。

はんしん自立の家の 2 階のロビーは入居者、スタッフ、ボランティア、そして宝塚ワイズのメンバーなど約 80 人の参加です。

宝塚クラブ長尾亘ワイズの司会、入居者の方による開会点鐘でオープン演奏「花は咲く」が



始まり、「紅葉」「七つの子」などの童謡の演奏になると、自然にあちらこちらから歌声が出てきて和やかな雰囲気を醸し出しました。そしてショパンのノクターンなどのクラシックの演奏に移るとシーンと全員その音色に耳を傾けて聞き入りました。最後は「ふるさと」を一斉に大きな声でピアノに合わせて歌い、感謝の花束が贈呈され幕を閉じました。

中村桂子さんの素晴らしいピアノ演奏は入居者の心を安らぎ、私たちワイズの



メンバーも共に豊かなひと時を共有させていただいた第一部の例会でした。

多胡 葉子

11月例会第二部は8日(水)第一部はんしん自立の家での「中村桂子ピアノコンサート」終了後、場所を移動して午後6時から、いつもの宝塚ホテル・ゴールドの間に於いてメン、メネット15名、ゲストビジター8名、計23名の出席により開催されました。ドライバー長尾ワイズの司会で多胡副会長の開会点鐘、ワイズソング、聖書朗読、祈祷に続いてゲストビジターの紹介があった。第一部のコンサートで素敵なピアノ演奏を聴かせて下さった中村桂子氏も引続きこの会に出席され改めて皆で感謝を込めて大きな拍手を送った。また大野理事夫妻も第一部から参加、神戸Yから井上真二総主事と藤田良祐西宮会館館長も第二部から出席して

されることになったYMCA「ブランディング」についての報告。スローガンは「みつかる。つながる。よくなっていく。」—「将来に向けた希望を感じて欲しい」との願いと共に新しいロゴマークが日本中のYMCAで統一的に使用されることとなる。YMCAがめざす希望ある豊かな社会が実現される印象を感じさせるこのマークが全国に広がっていくことを期待したい。

お二人のお話し終了後、14/15年度から始まった新会館建築募金の最終年度分を贈った。その後、報告事項等があった。

- ① ジャガイモ残数60箱の販売促進について依頼
- ② 12月例会について13日(水)6:30 第二例会(西公民会) 20日(水)第一例会(クリスマス例会)6時スタート。ご注意を!!
- ③ バザー日程、18年5月19日(土)とする。
- ④ 次期クラブ会長に青柳メンを推挙することを拍手で承認
- ⑤ 大野智恵 CS 事業主査からディンドンリンガーズ演奏会(11/26 栄光教会)及びCSベルマークシールへの協力についてアピールあり。

最後に誕生日のお祝いをして、多胡副会長の開会点鐘により例会を閉じた。

吉田 明



下さり多くのゲストと共に実りの多い楽しい例会を開くことが出来た事に感謝したい。

ホテル自慢のこの季節に相応しい美味しい料理をいただきながらの和やかな会食の後、神戸Yからのお二人のゲストからお話を聴いた。井上総主事からは今般の三宮会館の建築に関する宝塚クラブ及び同会員からの協力に対して感謝の言葉が有り、また竣工後の「活動のあゆみ」が報告された。新会館は「生活科学運営」との協働ということで、これまでとは違った意義も附加されることになった。この新しい拠点での新しい活動に期待したいと思います。

続いて藤田氏よりこの10月から正式に表出

11月第2例会報告

11月15日(水)18:30~20:45 宝塚市西公民館にて、武田会長、多胡、青柳、福田宏、堀江、長尾、吉田、若林各メンが出席のもと11月第2例会を開催した。今回は議案が多く、2時間余にわたって有意義な協議が行われた。

1. 12 月のクラブ運営

- ① 12 月の行事日程を考慮し、12/13 第 2 例会(西公民館)、12/15 市民クリスマス、12/20 第 1 例会(クリスマス例会)とすることを再確認した。
- ② 市民クリスマスのプログラム第 1 部は、関学神学部生の「劇」を挟み大幅変更。11/16 ベガホールとの打合せ時に学生参加の下、詳細を確認する。プログラムの YMCA ロゴは新ロゴ使用基準により修正(谷川)。ポップン・フラの曲目・人員を今月中に確認。本番日の裏方等の役割分担は 12/13 例会で提示。西日本区から CS 助成金 8 万円の入金があり、感謝。
- ③ クリスマス例会(12/20)は“ユース招待例会”とし、18:00 礼拝、18:30 例会。食事は通常の例会食、アルコール類は出さない。会費は、会員 3100 円、その他 3500 円。ボランティア活動者を中心に、中 正法(余島キャンプ)、橋本唯・太田ひかり(地球市民プロジェクト)、フェリシテイ(自立の家)各氏から体験談を、礼拝奨励に飯塚共生氏(関学神学部生)を、毎月のブリテン聖句及び「今月のみ言葉」で協力いただいている嶺重教授を招待する。当日、ブタ肉・シュトーレンを販売する。

2. 1 月以降のクラブ運営

- ① 1 月例会のゲストスピーカーは山田真知子氏、「平和の使者～青い目の人形～」、2 月例会(TOF)は会員・西川勝久メンに依頼する。
- ② 3 月は宝塚クラブ 30 周年記念例会として 3/21(祝)12 時～15 時、宝塚ホテル・オーシエルの間で行う。会費 6000 円、定員 70 名予定。プログラムは、開会点鐘・挨拶(会長)、30 年の歩み(PP 長尾メン)、祝辞(西日本区理事、辻建牧師)、乾杯(六甲部長)、パーティー食事、アトラクション(ポップンリンガーズ・服部氏によるギター弾き語り、アピール、誕生会、閉会挨拶＝次期会長を予定。
- ③ 3 月初開催の NGO 展は、各団体が行う支援先の“物品販売”に該当するものがないため、出展を辞退する。

- ④ 3/11 揚がれ、希望の凧! は自立の家・武庫川がっこう等と協力実施してきたが、新たに宝塚市関連団体から 3/17 に山本地区での開催案が提示された。協議の結果、後者を辞退し従前通り進めることとした。
- ⑤ チャリティー・バザーは 5 月 19 日(土)に、カルチェヌーボ逆瀬川で開催することを確認した。詳細計画は、バザー事業委員会(青柳メン)で検討する。
- ⑥ 12 月～3 月の例会案内チラシを作成する。
担当:多胡メン。

3. 第 21 回西日本区大会準備状況

数回の準備会合を経ていよいよ実施段階にはいった。「開催通知・参加者募集」案内の 1 月末発行を視野に具体的な作業に入っている。

4. ブリテン 12 月号の編集

長尾メンの編集方針に基づき寄稿分担、原稿締切 11/30、発行 12/4 を確認した。

5. 会計報告

吉田メンより、当面の支出、神戸市民クリスマス 10,000 円、メネット支援金(国際 5,000 円、国内 15,000 円)を承認し、じゃがいも在庫販促のため一部納入先に特別価格で出荷することを了承した。

書記 若林成幸

親愛なる Y's Men の皆様
デンマーク・ギブワイズメンズクラブ

Give Y's Men Club を代表いたしまして、私 Vita がご挨拶申し上げます。
今年もう、宝塚 Y's Men の皆様にクリスマスのご挨拶を申し上げる時期となりました。

Jorgen は皆様へのプレゼントの製作に励み、全部で 700 個のハートのオブジェを製作し、

老人施設へ赴き、そこの方の一人がサンドペーパーで、それらのハートのオブジェに磨きをかけてくれました。



Jorgen は彼の仕事場での作業をととても楽しんでおられ、様々な作品を生み出しています。今回のハートのオブジェはトネリコ材とマホガニー材で仕上げられ、市場や商店に販売に赴き、御嬢さんの Else も彼女のお友達に販売のお手伝いをしています。

今年 Give Club にとりましても多忙の年となりました。と申しますのは大きな施設、その中心には fire place があり 2 室の保護施設のある建物の大建設に関わり、皆が長時間、長期間、一生懸命に携わってまいりました。この施設の近くには 90 名の寄宿生がおり、職員共々、この立派な利用価値のある建物をとても楽しみにしています。

今週はコペンハーゲンの教会のためにクリスマス・ツリーを伐採に出かける予定です。

またコペンハーゲンの Y's Men's Club に長い花網を製作します。また教会の外側に花網で飾り付けもする予定です。利益はコペンハーゲンの Y'S Men's Club と折半の予定です。

12 月の初めに、クリスマス・パーティを予定しています。クリスマス・ディナー、余興、くじ等をして皆で楽しい時を過ごす予定です。

Jorgen, Bjarne そして私 Vita は小教区のクリスマス祝会へ出向きます。およそ 30 名の年配の一人住まいの方、1 か 2 の難民の家族の方の集まりで大きなクリスマス・ツリーが飾られ、鴨の丸焼き、ライス・プディングのご馳走が振る舞われ、全員にプレゼントが贈られる予定です。

この5月に貴 club より Hiroko が Give Club を訪れてくれて、とても嬉しく思いました。Bjarne が計

画をした数名のワイズメン宅でのパーティーを皆で楽しむことができました。

最後に、皆様に「クリスマスおめでとう！」を、申し上げるとともに、幸せに満ちた新年を迎えられますことを、お祈り申し上げます。

デンマーク・ギブワイズメンズクラブ一同
福田 宏子

第二回六甲部地域奉仕・ 環境事業委員会の報告

11 月 20 日 (月) 18:30~神戸 YMCA 三宮会館で開催されました。六甲部 CS 事業 大野智恵主査と 8 人の各クラブからの担当者の出席で協議され、決定した事項の報告です。みなさまのご協力よろしくお願ひします。

1. 「きらりと輝くアート展」について

今年度は以下の要領で開催をすることとし話し合いました。

開催日時	2018 年 4 月 28 日 (土)
開催場所	神戸 YMCA
内容	障がいのある方々のアートの展示 臨床美術実技 (講師 川本 治氏)

2. ベルマーク収集状況と回収に関して

各クラブでさらなる積極的な収集を依頼

3. 各クラブでの 7 月~11 月までの CS 事業報告

4. 環境事業に関して

神戸ポートクラブの細見俊雄ワイズが省エネなどの環境事業の取り組みを専門にしておられるので、各クラブでのスピーカーとして迎えることを検討。

多胡 葉子

神戸 YMCA 2017
チャリティーラン

11月3日(金・祝)
風もない
秋晴れに
恵まれ、美しい紅葉



に囲まれた緑のグラウンドで
第20回チャリティーランが“LOVE ON THE RUN”
「あなたが走るとハッピーになる子どもたちが増えます」の
標題のもと、神戸市北区「しあわせの村運動広場」で開催された。
グループ・ランでは人気のキャラクター「ブルゾンちえみ」に
仮装した子どもたちには思わず拍手を送った。わが宝塚花組も
優雅に完走し、賞を得ることができた。

恒例、宝塚クラブ出店：ラーメン・ぜんざいも好評
のうちに完売し、多くの企業、団体の協賛による、



ラッフル大会も大いに盛り上がり、わがクラブはホテル宿泊券、お菓子セット等の賞を勝ち得た。

今年は学校行事と開催日が重なったために、参加者が558名と大幅に減り、ボランティア人数は例年並みの180名、観客人数も900名と減少したものの、収益金はおおよそ¥1,500,000に達したのは、大いなる喜びと感謝である。

福田 宏子

西日本区
各部会訪問

びわこ部部会報告

2017年11月5日(日)、9部の最後を飾るびわこ部部会が長浜市北部、余呉にあるウッディパル余呉で開催されました。それに先立ち、SLとバスで行く湖北の秋、「お楽しみツアー」が9時30分米原を出発。残念ながらそれには参加出来ず杉本隆人六甲部部長の車で宝塚をスタート。秋晴れの中、サービスエリアで休憩をしながらいい時間帯に到着しました。

半年以上をかけてのアピールが功を奏し参加者は予定以上の210名と言う大盛況！やはり「松茸と近江牛」のキャッチは魅力的だったようです。

第一部は式典と余呉に伝わる羽衣伝説を題材にしたパフォーマンスがあり幻想的な気分になりました。

第2部はお待ちかねの懇親会。テーブルにドカンと置かれたすき焼材料をわいわい言いながら調理しつつアツと言う間にほぼ完食。大満足のひと時でした。

が、私たちにはまだ仕事が残っています。来年の西日本区大会アピールキャラバン・ワールドツアー(?)最後のステージです。



自然の中の解放感と近江牛のお蔭で出席者全員がノリノリでアピールを盛り上げて下さいました。

石田由美子

【今月のみ言葉】

今年もクリスマスの季節が巡ってきましたが、クリスマスと聞いて、まず連想するのはプレゼントではないでしょうか。クリスマスにプレゼントを贈る習慣は、古代ローマで 12 月に行われていたサトゥルナリア祭に際して、親しい人とプレゼントを贈り合っていた習慣に由来すると言われています。しかし、クリスマスとプレゼントの結びつきを決定的にしたのは、何と言っても「三人の博士」(占星術の学者たち)の物語であることでしょう。クリスマスプレゼントを主題とする文学作品として、O. ヘンリーの『賢者の贈り物』がよく知られていますが、実は「賢者」と訳されている Magi(マギ)は本来「三人の博士」を指す言葉なのです。

この物語の主人公のジムとデラは、それぞれ相手にクリスマスの贈り物をしたいと考えていましたが、貧しかったため、そんな余裕はありませんでした。そこでジムは、大切にしていた懐中時計を売って、美しい髪の毛をもつデラのために櫛を買い、一方のデラは自慢の髪を売って、ジムの時計にふさわしい鎖を買うのです。結果的にそれぞれの贈り物は無駄になってしまいましたが、相手からの贈り物を知った彼らはこの上ない喜びを与えられたのであり、その意味でまさに「賢者」だったのです。本来クリスマスは、救いの御子がこの世に与えられたことを祝い、そのことを神に感謝するときですが、その意味では、人から与えられることだけでなく、人に与えることも考えるべきときなのでしょう。

嶺重 淑

YMCA だより



主の聖名を賛美します。

いよいよ、主の降誕を待ちわびるときとなりました。保育園では、降誕の喜びを伝え、家族とも喜び合おうと日々表現(劇)遊びや 5 歳児は降誕劇の練習に励み、毎日園舎の中は歌声がたくさんのも時期となっています。クリスマスの準備を通じて、子どもたちはたくさんの発見や成長をして、その喜びを友だちどおしや家族にも伝え、ともに喜び、それぞれに希望を与えられる、そんな貴重な経験をしていると感じています。この行いはまさに「みつかる。つながる。よくなっていく。」ではないかと、ちょっと嬉しくなりました。

YMCAを通して、またYMCAの周りでそんな出来事が広がっていければと思っています。ぜひ、皆さんの周りでも見つけた「みつかる。つながる。よくなっていく。」があればぜひお教えてください。

1. チャリティーラン報告

第 20 回となる神戸YMCAインターナショナルチャリティーランですが、秋晴れの神戸しあわせの村で、11 月 3 日に開催を行うことができました。今年は、地域の小学校行事の日程と重なっていたこともあり、小学生駅伝は例年に比べ揮わなかったのですが、それでも奉仕者、ランナーなど、全体で約 900 名が会場に足を運んでくださり、支援金は、速報金額ではありますが 1,599,233 円となりました。

特に宝塚ワイズは、ラーメン・お汁粉の出店やランナーとしてのエントリーだけでなく、多くの方々協賛金をはじめ、趣旨に賛同する中でお支えいただいたこと重ねて申し上げます。

YMCAでは発達障害がある子どもの支援をはじめ、様々なハンディのある当事者、支援者の直接的・間接的な支援活動を行っていますが、多くのそうした方々に輝きを与えられるよう、この活動を通じて得た基金を用いさせていただきます。

2. YMCAセミナーご報告

秋の大切な活動として行っているYMCAセミナーですが、例年キリスト教のミッション、キリスト教団体として歩むべき道を考える機会として行っています。

今年度も11月18日(土)に新しく与えられた神戸YMCA三宮会館で井上神戸YMCA総主事、神崎日本YMCA同盟総主事、そして全国で最も若い村上ぐんまYMCA総主事をパネラーに古澤牧師をナビゲーターとして「キリスト教の香り」と題してセミナーを開催しました。各総主事のキリスト教を感じた瞬間や、YMCAの職員として業務・プログラムを進めて行く中で、感じた「C」をお話いただきました。

「YMCAは野にある教会」という言葉に参加者のみなさんの多くが頷く様子が見え、チャペルに集う方々のYMCAへのイメージを上手く、わかり易く表現されたと感じました。

新しいロゴ、マークを与えられましたが、根底にある変えてはいけないものを見据えつつ歩むことの大切さを学ぶ時間となりました。

2. 神戸市民クリスマス

例年、宝塚ワイズにもお支えいただいている神戸市民クリスマスですが、第59回となる今年は、宝塚市民クリスマス・キャロルの夕べと同日の開催となります。神戸以遠の方がいれば合わせてご吹聴ください。

日程:12月15日夕刻より

場所など詳細は

<http://www.kobeymca.org/shiminxmas/>

でご確認ください。

3. YYフォーラム開催について

例年、ワイズやリーダー、スタッフと学び語り合う機会として実施している表記の会ですが今年度は、2018年2月10日(土)午後開催することとなりました。テーマは「ブランディング」。詳細が決まれば随時お伝えしていきます。

第21回西日本区大会 実行委員会コーナー

11回目の実行委員会が2017年11月27日(月)、18:30から神戸YMCAで持たれました。今回は今後の動きの中心となって来る登録についてオフィシャルエージェントである日本旅行担当者から実際の登録サイトの説明や、より便利なものにするためのアドバイス等を聞きました。

基本的に登録申込は西日本区HPから入って行く個人でのウェブ登録で、参加プログラム、ホテルなどの予約が可能、支払い方法の選択まで出来ます。従来通りFAXでの対応も可能です。今迄にない大きな特徴は、海外からも登録、支払いが出来る英語サイトです。国際都市神戸にふさわしくIBCの多くのブラザーに来て頂きたいです。

登録は2018年1月から開始、いよいよ始まります。

石田由美子実行委員長